

平成16年7月2日

日本学術振興会
プロセスシステム工学第143委員会
委員長 小野木 克明

プロセスシステム工学第143委員会
第148回委員会・平成16年度第2回研究会 開催通知
(143委員会ホームページ <http://jsps143.pse.nuce.nagoya-u.ac.jp/>)

1. 日 時：2004年7月23日（金）13:00～17:00 委員会・研究会

2. 場 所：弘済会館（東京都千代田区麹町5-1／電話：03-5276-0333）
（交通：JR中央線・地下鉄丸の内線「四ッ谷駅」下車徒歩3分）

3. 委員会：(13:00～13:10)

4. 研究会：(13:10～17:00)

13:10～13:50 平成16年度第1回研究会グループディスカッション報告

- ① 水平連携からの課題と方策1 物流統合、調達・生産・販売連携、企業間連携
名古屋大学 栗本 英和 委員
- ② 水平連携からの課題と方策2 Product to Process、R&Dと生産の連携
京都大学 加納 学 委員
- ③ 垂直連携からの課題と方策 ERP、MES、工程制御、運転管理
九州大学 武田 和宏 委員
- ④ 技術基盤からの課題と方策 標準化、業界ネットワークインフラ、シミュレーション、予測、最適化技術
東京農工大学 北島 禎二 委員

テーマ：「様々なインテグレーションによる省エネルギー・コスト削減」(13:50～17:00)

13:50～14:10 「コンビナート・ルネッサンス事業の展開」

石油コンビナート高度統合運営技術研究組合（RING） 能村 郁夫 氏

<概要>石油コンビナートにおいて、製油所や企業の枠組みを越えた、複数製油所間や石油化学等の異業種間における高度な一体的運営による競争力強化と環境負荷低減対策技術の確立を図るため、RINGプロジェクトとして、第1次研究開発事業を平成12～14年度、さらに第2次研究開発事業を平成15～17年度の計画で実施している。その状況と展開について説明する。

14:10～15:10 「RINGプロジェクトのトピックス」

- ①『先端的総合生産管理システム技術開発』（水島地区）
（株）ジャパンエナジー 大森 克己 氏
<概要>複数事業所間の原料等の融通を最適化するための総合生産管理システムの開発成果について報告する。
- ②『コンビナート操業情報システム技術開発』（周南地区）
出光興産(株) 阿部 信夫 氏
<概要>複数事業所生産情報の一元的管理によるコンビナート全体の高効率・省エネシステム開発成果について報告する。
- ③『冷熱・副生ガス総合利用最適化技術開発』（堺・泉北地区）
東燃ゼネラル石油(株) 松原 修 氏
<概要>LNG冷熱最適利用カスケードプロセス等によるコンビナート副生ガスの高度利用技術開発成果について報告する。

15:10～15:30 コーヒーブレイク

15:30～16:20 「ケミカルハイドライドを利用する水素輸送技術の適用可能性」

千代田化工建設(株) 西島 裕明 氏

<概要>製鉄・石油精製および石油化学からの副生水素の利用に関する NEDO 委託調査やトルエン/メチルシクロヘキサン系の水素ステーションに対する考え方等について解説する。

16:20～17:00 総合討論「PSE はどう寄与する」

<概要>常に広いシステムバウンダリーを見据えて最適化を目指すことは、プロセスシステム工学の原点であり、その点からも様々な情報や物質のインテグレーションによる省エネルギー、コスト削減は、プロセスシステム工学研究者が寄与すべき点が多くあるテーマである。しかしながら、PSE研究者のみでは解決できない問題も多く存在する。PSE研究者の寄与すべき分野や今後研究対象とすべき問題をクリアにし、今後の産官学協同等の方向について議論する。

コーディネーター&コメンテーター

長谷部 伸治 委員 (京都大学), 大杉 健 委員 (ジャパンエナジー), 高田 晴夫 委員 (三菱化学)

<追記>

準備の都合がありますので、出欠をご記入の上、7月20日(火)までにご回答下さい。

[送信先]

名古屋大学工学研究科 化学・生物工学専攻 小野木 克明 FAX: 052-789-3267